

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成23年11月4日(2011.11.4)

【公開番号】特開2010-175485(P2010-175485A)

【公開日】平成22年8月12日(2010.8.12)

【年通号数】公開・登録公報2010-032

【出願番号】特願2009-21043(P2009-21043)

【国際特許分類】

G 01 V 8/14 (2006.01)

H 01 H 35/00 (2006.01)

G 01 V 8/20 (2006.01)

H 03 K 17/78 (2006.01)

【F I】

G 01 V 9/04 B

H 01 H 35/00 M

H 01 H 35/00 N

H 01 H 35/00 C

G 01 V 9/04 Q

H 03 K 17/78 S

H 03 K 17/78 N

【手続補正書】

【提出日】平成23年9月16日(2011.9.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光を投受光することにより、予め設定された二次元的又は三次元的な保護領域内の物体からの光により該保護領域内の物体の存在を検出すると共にユーザが設定可能な安全機能を備えた光電スイッチであって、

少なくとも第1、第2の複数の出力系統を備え、

各出力系統毎に前記安全機能又は前記保護領域をユーザが設定可能であることを特徴とする光電スイッチ。

【請求項2】

前記複数の出力系統の各出力に検査信号が時分割で異なるタイミングで重畠される、請求項1に記載の光電スイッチ。

【請求項3】

前記光電スイッチが、その検出能力をユーザが設定可能であり、

前記各出力系統毎に前記検出能力をユーザが設定可能である、請求項1又は2に記載の光電スイッチ。

【請求項4】

前記安全機能が、前記光電スイッチの安全出力がOFF状態からON状態に変化するのを阻止するインターロック機能である、請求項1～3のいずれか一項に記載の光電スイッチ。

【請求項5】

前記安全機能が、前記多光軸光電スイッチ又は光走査型光電スイッチの光軸の全部又は一

部の光軸を一時的に無効化するミューティング機能である、請求項4に記載の光電スイッチ。

【請求項6】

各出力系統毎に、不許可を示す安全信号に固定するか否かをユーザが設定可能である、請求項5に記載の光電スイッチ。

【請求項7】

前記複数の出力系統の各出力に検査信号が時分割で異なるタイミングで重畠され且つ一方の出力系統の出力状態を他方の出力系統の出力状態にそのまま反映させる設定をユーザが選択可能である、請求項5又は6のいずれか一項に記載の光電スイッチ。